

各位

## アスパラガスの台風後対策について（10号）

R2.9 アグリ技研（株）

### 1. 通過後対策について

- ・ビニールの破損や事前に降ろした場合は、茎葉の乾いた状態で早急に被覆する。

（茎葉の濡れた状態の被覆は、高温での葉ヤケとなる、被覆は茎枯れの誘発となる）

- ・施設の破損等は、早急に復旧作業を行う。（パイプ・ビニール）

- ・施設内に浸水している場合は、早急に排水と乾燥に努める。

- ・茎葉の乾燥後に薬剤防除を行う。（葉面散布肥料混用）

（茎葉の乾いた状態で斑点・褐斑・茎枯れの予防防除）

- ・草勢回復にコラーゲン・ラボの500～800倍（やや薄く）で葉面散布を行う。

- ・根域の動きを良くするのにアミクエ10kg/10a（灌水）を5日置きに施肥。

- ・強風等で倒伏の場合は、株元を押さえて再度誘引、引き起こす。

- ・強風で茎葉の損傷している場合は、枯れ込んで来てから除去整理する。

- ・追加立茎する場合は、なるべく早めに行って茎葉展開させ本数の確保をする。

《春芽の収量安定のためには、今後の草勢維持に努めましょう》